

拡大する圃場面積に対応するための高効率直播機の開発

代表機関： 大田ゲートウェイ株式会社
共同研究機関： 株式会社エース
実施年度： 2024年度～2025年度（フェーズ2）
キーワード： 大規模農業、播種、省人、効率化

研究代表者： 浅野和人



圃場に畝を成型し、播種を行う直播機を製品化。
畝が乾湿害から種子を守ることで、高い収量を実現。
畝の鎮圧成型により、高水分土壌での播種も可能とし、
大規模圃場における高効率且つ計画的播種を実現した。



背景・目的

農業人口の減少に伴い、圃場は大規模化が進む。少人数での営農は効率化が必須であり、特に負荷が高い播種作業の効率化のため、農研機構と共に畝を成型し播種する直播機を開発した。
農研機構での実証試験では既存直播機が苦手とする各種問題を解消し（下段参照）、安定した収量を実現したが、普及に向けては低コスト化、メンテナンス性の向上などが課題となっていた。

研究成果

今回の開発を経て、既存の直播機に無い機能の更なる向上を実現すると共に、製造法の見直しによる低コスト化、交換部品化等によるメンテナンス性の向上も実現した。
全国各地で試験・評価も行い、様々な土壌条件への適応力の向上も見られた。
今後、益々進む圃場の集約・大規模化へのソリューションとして、2026年春より販売を開始する。

当直播機（畝立て直播機）の強み

- 1) 畝の鎮圧成型により、圃場の漏水を抑制
- 2) 鎮圧効果により、降雨後などの高水分土壌においても播種が可能
- 3) 畝天面への播種により、種子の水没等を回避し、高い収量を実現
※カルパーコーティング等も不要
- 4) 水位を畝天面下に保つことで、湛水時の害虫（ジャンボタニシ）の食害を回避

今後の展開方向

2026年春、新たに設立したブルーアノール㈱（事業目的：畝立て直播機の販売）より、テスト販売を開始。

天候に左右されにくい強みは計画的播種を可能とし、大規模圃場、湿田等への直播の『切り札』となる。
今後、販売エリアを徐々に拡大しながら、全国への普及拡大を図る。

<代表機関概要> 大田ゲートウェイ株式会社

■HP：<http://otagateway.co.jp/>

■所在地：東京都大田区大森西2-17-14

■連絡先：asano@otagateway.co.jp / 090-7835-1618

2026年(令和8年)3月31日時点